

●やまもとちよう

山元町

山元町の被害状況



最大震度 6強

浸水面積 24km²

最大浸水高 13.52m



全壊 2,217棟
半壊 1,085棟
一部損壊 1,138棟



注①
死者 637人

行方不明者

負傷者 90人

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.11下段に記載の資料に準拠
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

国外にも目を向け災害を考えるきっかけに

「3月11日の日時計」 中浜小学校震災モニュメント

●なかはましようがっこうしんさいもにゆめんと「さんがつじゅういちにちのひどけい」

震

震 震当時、救助ヘリコプターが着陸した地点に震災モニュメントを設置。文字盤に地震発生時刻の14時46分を示す石を配置するだけでなく、中央に方位盤も配置して、過去の大地震や東京電力福島第二原発の方向や距離などを表示し、震災を広い視点で捉えようと呼びかけています。時が止まったままの校舎と日時計によるゆっくりとした時の流れのなかで、誰もが震災と向き合う時間をもてらしましょう。日時計の仕組みをはじめ、理科についての学習できる施設としても整備されています。

このモニュメントがある山元町震災遺構 中浜小学校(P.85)は校舎をできるかぎり被災時のまま保存・整備しており、展示スペースはあの日何が起こっていたのかを強く語りかけてきます。2020年には、遺構保存の手法や見学体験の工夫などが高く評価され、「グッドデザイン賞」に選出されました。

文字盤の真ん中に方位盤を配置し、国内外を問わず過去に起きた大規模地震の方向や距離などを表示。東日本大震災だけでなく、震災を地球規模の広い視点で捉える工夫をしている



津波の威力や状況を伝える場所。やまもと語りへの会による語り部ガイドと一緒に見学すると、震災に対する考えがより深まる(所要45分～、④語り部1人5000円※要予約、語り部1人につき20人まで対応可)



日時計は、3月11日に時刻補正值がゼロになるように(日時計の影が実際の時刻を指すように)作られている。よく見ると目盛が対称でないのは、水を流すために盤面を傾けてあることが主な理由

その他

(モニュメント)

語り部あり

※要予約

施設DATA

●なかはましようがっこうしんさいもにゆめんと「さんがつじゅういちにちのひどけい」

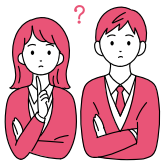
中浜小学校震災モニュメント 「3月11日の日時計」

☎ 0223-23-1171 MAP P116E1

- ④山元町坂元久根22-2
- ④常磐自動車道山元南スマートICから車で10分
- ④9時30分～16時30分
- ④休月曜(祝日の場合は翌日)
- ④無料
- ④あり(大型バスあり)

考えてみよう

Q1 「3月11日の日時計」の方位盤には、ほかにも中浜小学校へ避難した人たちに「明けない夜はない」と希望を与えたものの方角を示しています。それは、一体何でしょうか?



A1 東日本大震災発生翌日、3月12日に朝日が昇った方角を示している。希望となって人々を勇気づけた。

注① 出典: 東日本大震災および津波の被害状況, 2019年10月25日, 山元町ホームページ (<https://www.town.yamamoto.miyagi.jp/site/fukkou/324.html>)